

中央学院大学中央高等学校

校長 土田 忠男

創立記念日にあたって

臨時休校が長く続き皆さんとお会いする事が出来ないまま創立記念日を迎えました。今日は創立記念日についてお話ししたいと思います。

本校は明治33年(1900年)仏教学者「高楠順次郎博士」らにより、建学の精神であります「誠実に謙虚に生きよ 温かい心で人に接し 奉仕と感謝の心を忘れるな 常に身をつつしみ反省と研鑽を忘れるな」の教えの下、「日本橋簡易商業夜学校」として日本橋区蛸殻町(現、東京都中央区)に設立されたのがスタートです。その後、明治35年(1902年)中央区新川永代橋のたもと商船学校の移転跡地に移り「中央商業学校」になりました(現在の創立記念日である5月1日は、中央商業学校の開校式典が行われた日に制定されています)。平成13年(2001年)に現在の江東区亀戸に移転し今年120周年の記念すべき年に当たります(来年1月には記念式典が予定されています)。移転当初は廃校になっていた小学校の校舎にて教育活動を行っておりましたが、新校舎及びグラウンドの新設により全ての施設がリニューアルされました。

本校は明治・大正・昭和・令和と120年の歴史の中で関東大震災、太平洋戦争など数々の苦難にあいながらも発展をしてきました。現在直面している新型コロナウイルスに対しても生徒の皆さんが感染することなく健康で再開できると信じています。このような時期だからこそ今一度、建学の精神を思い出して自宅で学習に取り組んでください。今こそ自ら学ぶ姿勢が問われる時だと思えます。